

絵手紙創始者：書道家小池邦夫講演会

開催場所：Mi・Ga・Ki スクウェイブホール

開催日： 2018年10月13日

絵手紙（えてがみ）とは、手紙の一種で「絵のある手紙をかき送ること」である。

「絵のある手紙」自体は古くからあるものだが、「絵手紙」というジャンルが確立されたきっかけは、書道家の小池邦夫が1978年から1979年にかけて、芸術誌「季刊 銀花」（文化出版局）へ綴じ込み企画として、6万枚の直筆絵手紙を発表したこととされている。現在は、中高年層を中心に趣味の一環として広まり始めている。

出典：Wikipedia

